

言葉を大切に 自分を大切に 仲間を大切に



校長 小林 正樹

新緑が目眩しい季節となり、新年度が始まって早1ヶ月が経ちました。4月22日の学校公開では、多くの保護者の皆様に参観していただきました。ありがとうございました。また、お忙しい中、修学旅行全体説明会や学年保護者会にもご出席をいただきました。ここでは学校経営方針を踏まえた、学年方針をお伝えし、これから1年間の学校生活の見通しをもっていただきました。

さて、私は日々、授業等を見て回ることを大切にしています。1年生は、中学校生活のリズムにも慣れ、授業に真剣な態度で取り組み、クラスの中では様々な場面で自分の役割を全うしようと頑張っています。今後の成長がとても楽しみな1年生です。

2年生は、4月に後輩を迎えて先輩になりました。授業では真剣な態度、休み時間では素敵な笑顔、そして、体育祭に向けた学年練習では生徒と先生たちが一緒になり、グラウンドから大きな掛け声が聞こえたり、音楽室から元気な歌声が聞こえたりしています。

3年生は、「中学校生活最後の一年間を充実させるぞ!」という気持ちでスタートし、仲間と共に前向きに学校生活を送っています。最上級生としてリーダーシップを発揮すること、授業や家庭学習においてひとつひとつ積み重ねた力を大切に、頑張ろうとする態度にとっても好感がもてます。

すべての生徒たちに、授業や学校行事などに積極的に取り組み「夢中になって頑張れるもの」を見つけて自信をもってほしいと期待しています。

話は変わりますが、私は、たった一言の言葉が、その場の雰囲気や和（なご）ませたり、感動を与えたり、心を奮い起こす原動力となったり、逆に相手を傷つけ落ち込ませたり、言葉には、人の一生を左右するくらいの影響力があると考えています。言葉は魔法の力をもっていて、美しく前向きな環境で育つと、「自分を大切に、他者を理解できる」、「自分に自信がもてる」、そんな生徒が育つと考えています。言葉は、たやすく人の心に入り込んで、次の一歩が踏み出せず悩んでいるときには勇気の源となりますが、しかしその一方で、たった1人の中傷が大きな心の傷をつくってしまうなど、私たちが思う以上に大きな力をもっています。本校では、学習・生活環境だけでなく、言語環境も整えながら、生徒たちを認めて、ほめて、自分に自信がもてるよう応援していきます。

4月29日（土）から大型連休となります。4月は1年生だけでなく、2、3年生にとっても環境が大きく変わった1ヶ月でした。そろそろ疲れも出てくる頃です。連休中は、規則正しい生活を基本に、ほんの少し体と心を休める時間を見つけてください。家族との会話を大切に、心豊かな時間を過ごしてほしいと願っています。

最後になりますが、今年度は学校行事など感染症対策を取りながら、できる限り実施して皆様へ公開していきたいと考えています。生徒にとって必要な学びや活動が保障できるよう全力で取り組みます。